

令和4年度 宝っ子の教育『熟議』(第1回)

7月28日(金) 18:00~19:00、1階ランチルームにて開催

【次第】

※司会進行：多田進郎会長

- 1 学校長挨拶および熟議の説明 (5分)
本日のテーマ：「地域みんなで子どもたちの未来を考える」
～子どもたちにどう育ててほしいか?～
- 2 グループ協議① (15分)
「目指す子ども像」・「現状の姿」・「問題点」について考える
- 3 各グループ発表①〔共有の時間〕 (10分)
- 4 グループ協議② (10分)
「課題」・「アイデア, 手だて」について
- 5 各グループ発表② (5分)
- 6 まとめ (10分)
今後の方向性について
「学校・家庭・地域でできることは何か」
- 7 学校長閉会挨拶 (3分)

【参加者】

区長会長	多田 進郎 様	公民館長	谷口 久夫 様	元公民館長	民山 猛 様
学校評議員	寺山さなえ 様	学校評議員	高橋 武夫 様	PTA会長	石田 哲也 様
PTA母親代表	池崎 啓子 様	PTA副会長	桶田 達矢 様	※以上学校運営協議会委員	

PTA1年理事	野田 智和 様	PTA2年理事	橋元 美久 様	PTA3年理事	宮口 智美 様
PTA4年理事	金田 里子 様	PTA5年理事	森 瞳 様	PTA6年理事	野田 英幸 様
PTA7年理事	山岸 久子 様	PTA8年理事	濱 陽子 様	PTA9年理事	篠川 杏子 様
こぼろアグリ	宮崎 仁志 様	越後石油店長	越後 英明 様	谷口自動車社長	谷口 一滴 様
宝立保育所長	佐渡 智子 様	プライム128J r	谷口 建都 様		
シルバークラブ					
柏原柏友会会長	上口 義信 様	鶴島長生会会長	上濱 全吾 様	鶴飼宝寿会会長	刀祢 春子 様

【本校職員参加者】

時兼 角 古道 岡田 鹿野 小林 花木

【議事録】 ※以下のように表にまとめました。

	協議項目	保護者	地域	学校
1	目指す子ども像	自分で行動してほしい 繋がりを求めてほしい	臆せず自分の言葉で話せる子 地域とともに成長できる子 孤立しないで他者と繋がれる子 自分の将来の姿を見つめられる子 人の話を聞ける子 柔軟な考えをもち、自立した子	思いやりがある子 高め合える子 自主自立できる子
2	現状の姿	祭りがないので、地域との繋がりが途絶えている。挑戦する機会もない。 コロナ禍で集まれないので、オンラインゲーム 自然発生的に自分たちで遊んでほしい。	挨拶ができる良い子 地域で会えば挨拶する 男女が明るく会話する 親が送迎するため、挨拶の機会がない。 会話する機会がない。 ゲームする機会が多い 地域の姿が子どもに反映される (コロナ禍で行事が減るなど)	素直でやるべきことをする
3	問題点	スポーツ(野球・サッカー)ごとの関わりはあるが、それのみに限られる。他との交わりがない。	子どもが少ないので、競争相手がいない。	待ちの姿勢 人任せのところがある
4	課題	自立 繋がりを求めてほしい	自主性をもってたくましく生きる 子どもの社会性、人と関わる力	待ちの姿勢
5	アイデア手だて	いろいろと集まるコミュニティがあればいい ・釣り ・料理教室 親子で参加できる場 普段の生活の中で、いろいろ体験させる	組織を作って、子どもたちに参加してもらおう。 大人と一緒にゴミ拾いする 地域の人と関わる場を多くする 地域の自主防災訓練に積極的に関わらせる 地域の人にもラジオ体操に参加してもらおう 部活動の指導を地域の人とする	子どもたちからの活動 提案しやすい雰囲気づくり 生きた体験活動をさせる 子どもの枠を広げる
6	これから三者できること	<p>※指示待ちではなく、自分で課題を見つけて挑戦していくように手だてを講じて実践していく。</p> <p>※子どもたちが関わる機会を三者で設定していく。</p> <p>・運動会 ・ラジオ体操</p> <p>※子どもたちがしているラジオ体操を、青年福祉委員以外も協力する。</p> <p>※鶴島には5つの子ども会があるが、子どもがいない中で子ども会をどうしていくか。</p> <p>※自主性をどのように育てていくか。</p> <p>◆地域に活力がないと、子どもにも活力がない。(その逆も言える)</p>		

(感想) 本音で家庭・地域や学校の話聞く良い機会となった。子どものためにどうするか考えていく。